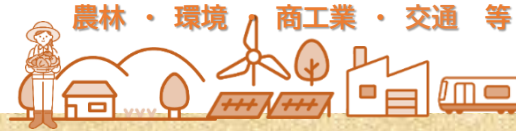


みんなでつくる 支え合うところあふれるまち くるめ のイメージ図

社会・経済活動の基盤としての地域



就労や社会参加の機会の提供・
多様な主体の生活支援への参入

人と資源の
循環

地域資源の有効活用・
働き手の創出

すべての人の暮らしの基盤としての地域

企業・商店
医療機関 金融機関
NPO・ボランティア団体
学校 社会福祉法人

多様な主体が地域づくりにつながる
ための場や仕掛け

生活支援体制整備事業

地域住民や多様な主体とつながり、
地域の現状や将来像を共有し、
地域の中で協働しながら新しい
価値を生み出すのを支援する

生活支援コーディネーター
の配置



多様な主体の力を活かした地域づくりへ

個別支援の成果や課題も踏まえて、地域課題・
ニーズを把握検討し、地域づくりへ還元する

地域にある営みとつながり、
協働できるネットワークを拡大

支え合い
推進会議
(校区ごとに設置)



多様な居場所が地域のあちこちにある
人のつながりや多世代の交流が自然に生まれる

地域コミュ
ニティ活動

PTA・
こども会
活動

お祭り

健康
教室

スポーツ
活動

趣味・
サークル
活動

暮らしの中
の居場所・
交流の場

住民による自発的で
柔軟な地域づくり

「気にかけて合う」コミュニティが豊かな地域に
なるよう、地域そのものの育ちを応援

制度や仕組みを
活用した地域づくり

地域の気づく力、支え合う力が高まる

課題発生の予防や早期相談、選択肢のひろがりなど、
「困りごとを抱えたとき」を支える力も高まる

参加支援事業

課題を抱える個人・世帯と社会をつ
なげる個別支援と環境(仕組み)づ
くりを行う

重層

“叶え合う”
関係性

それぞれの「願いを
叶えたい」を活かす
関係の中で、自然と
困りごとが解消したり、
自分らしく生きる力
を得られる

災害に備えて

災害時に備えた、平時からの仕組みづくり
(地域防災力の向上と共助意識のさらなる醸成)

困りごとを抱えたときに ~選択肢が広がる支援体制~

「公的な制度を使った支援」の車線

包括的な相談支援体制

主な相談窓口

長寿支援課	(委託)地域包括支援センター	高齢
障害者福祉課	(委託)障害者基幹相談支援センター	
こども子育てサポートセンター		障害
生活支援課	(委託)生活自立支援センター	こども
保健所	若者相談窓口「みらくる」	困難
地域福祉課	久留米市社会福祉協議会	
その他各課	成年後見センター	

支援の選択肢を
車線で表現



2つの車線が合わされば
本人の選択の幅が広がる

制度を使って
困りごとを
解決・軽減

個人的な関係
の中で困りごと
を解消

相談

複合・複雑な
課題を抱えても
相談先がある



誰かを支える
ときもある

身近な支え合い
で困りごとを解消

訪問等

アウトリーチ事業

支援が届いていない人と
つながり、支援を届ける

重層

「インフォーマルな力」の車線

(人と人のつながり・多様な関わり方)

つながりによる支え合い

隣近所、自治会・校区コミュニティの各圏域

様々な支援活動

民生委員児童委員による見守り活動
校区社協等による小地域ネットワーク活動
支援団体・市民活動団体の活動

社会福祉法人や企業の地域貢献



多機関協働事業

複合・狭間の課題も受け止められる
よう、公的制度やインフォーマルな力
を活かしながら、チームで支援する
体制づくりを行う

重層